

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課	所属長名	青井 憲治	電話	483-1151 内線2330
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4049	事務事業名称	行政評価推進事業	短縮コード	経常	4049	臨時					
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	企画費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	行政評価実施要領								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<p>行政経営ツールとして、行政評価システムの庁内への定着を図るとともに、評価結果の分析・集計を通じて、目的の妥当性、事業手段の適合性、施策目標の達成度を検証し、次年度以降の事業計画に反映させる。</p> <p>平成11年度：事務事業評価システムについて研究活動開始。平成12年度：事務事業評価システム導入キックオフ説明会を実施し、モデル事務事業の個別評価を開始。平成13年度：全庁的に評価実践。平成14年度：事務事業評価システムから行政評価システムへ展開。平成16年度：事務事業単位を予算の細事業と同一にする。平成19～22年度：施策評価の一部試行実施。平成24年度：行財政改革推進課が所管する外部評価との連携</p>												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	07	計画の推進のために					
国における政策評価の法制化が実施され、地方公共団体においても行政評価の推進が求められている。 限られた予算の中で、市民ニーズを的確に反映した各種施策の計画的な推進が求められていることから、事業についての方向性を判断する材料となる、行政評価の必要性・有用性が増加している。					大項目(節)	01	市民主体による自主的な行政経営					
					中項目	03	第3章持続可能な行政経営の確立					
					小項目	01	(1)効率的な行政運営の確立					
					細項目	01	①成果を重視した行政運営の推進					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	事務事業 市民(住民基本台帳に登録している住民)							
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと： 4月：事務事業の個別評価実施のための事前調査実施 5月：事務事業評価実施 6月：評価内容について行政評価調整委員と協議 7月～9月：八千代市行政評価調整委員会による事務事業評価結果の検討(サマーレビュー)を実施 10月：市広報紙に評価結果の概要を公表/市ホームページ・情報公開室・図書館に全評価表を公表 ※平成24年度に計画していること： 1.行政評価における事務事業の個別評価を実施 2.サマーレビューの実施 事務事業の個別評価報告書の作成 評価結果の公表 3.行財政改革推進課が所管する外部評価との連携 3.予算への反映状況調査実施							
意図 (何を狙っているのか)	1.評価を通じて、評価実施者が個々の事務事業の目的妥当性、効率性・有効性を向上させるきっかけを得ることが出来る。 2.市民が、本市の事務事業の前年度実績とそれに基づく事務事業推進部署の次年度に向けた取組の方向性を知ることが出来る。							
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外							
区分	指標	事務事業数	単位	22年度		23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	事務事業数	事務事業	435	456	455	441	
	指標2	市民(住民基本台帳に登録している住民)	人	193,274	196,400	192,884	199,500	
	指標3							
活動指標	指標1	事務事業評価実施を支援した延べ人数	人	251	260	190	200	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	事務事業評価表の公表数(適正に評価が行われた数)	件	435	456	455	441	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4049	事務事業名称	行政評価推進事業			所属名	総合企画課
	単位	22年度		23年度		24年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,205	1,217	1,207	1,058
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳		消耗品費：11千円 システムセットアップ委託と保守点検委託料：378千円 行政評価運用支援システム賃借料：817千円		消耗品費：13千円 委託料：378千円 使用料及び賃借料：817千円		消耗品費：12千円 委託料：378千円 使用料及び賃借料：817千円	
人件費(B)		千円	15,081.6	18,269.5	20,435.2	13,699	
トータルコスト(A)+(B)		千円	16,286.6	19,486.5	21,642.2	14,757	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位の施策「効率的な行政運営の確立」を推進するために、行政評価推進事業を実施しており、結びついている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	行政評価の導入目的である「①限りある行政資源の効率的・有効な配分の実現、②職員の意識改革の実現、③評価結果の公表を通じた行政の説明責任の履行、④新たな行政経営システムの確立」を推進するため、今後とも継続して実施していく必要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	事務事業単位に計画を実践、評価し、次の計画を立てるという一連の流れの一部を担っており、事業の執行者である行政自らが実施すべきである。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	所期目的の変更はなく、現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結びつく。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	行政評価運用支援システムにおける「事業概要・事業費・トータルコスト」などの数値について、財務会計システムと連携することが可能であれば、財源等が自動入力となり、担当者の負担の軽減が図れる。 平成24年度より、行財政改革推進課において施策の外部評価を試行実施することから、評価結果を事務事業評価に反映させていく。			
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
<input checked="" type="checkbox"/> I T化等の業務プロセスの見直し						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)	
	<input type="checkbox"/> 上記以外の方法		2		実施主体(所管部署)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	財務会計システムが財務情報の保全等の理由により現在単独で稼働しているため、行政評価運用支援システムとの連携が可能かどうかなどの調査・検討が必要となってくる。 外部評価については、平成24年度試行実施のため、評価結果をどのように反映させていくかの検討を要する。				
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	4049	事務事業名称	行政評価推進事業			所属名	総合企画課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他		行政評価運用支援システムと財務会計システムの連動について検討していく。行政改革推進課が所管する外部評価結果を、事務事業評価結果に反映することにより、評価の透明性を高めていく。																								
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	システム改善については、コストは不変。外部評価との連携により、事務事業評価の透明性が高まることから成果向上。	
		経費																											
		削減	不変	増加																									
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>1つの事務事業に、複数の事業が含まれている為、評価の成果が分かりにくくなっている。外部評価等について検討を行っていく必要がある。</p> <p>事務事業評価表の「市民や議会の意見」欄には、議員の一般質問や市民や団体からの要望書などの内容が漏れなく記載されるように。事務事業評価結果については、決算審査特別委員会に活用できるように。</p>	

所属長コメント	<p>第4次総合計画の推進にあたり、事務事業評価を通じて、事業の目的妥当性・有効性・効率性の向上を図るとともに、評価結果について、前期実施計画のローリング及び予算編成への活用を行っていく。また、行政改革推進課が所管する外部評価との連携を図り、行政評価の客観性・妥当性の更なる確保に努めていきたい。また、データの共有により、業務量の軽減が見込まれる、行政評価システムと財務会計システムを連動についても、今年度新たに設置された「八千代市内部情報システム構築検討委員会」において今後検討を行っていきたい。</p>		
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続		<p>外部評価の連携により、よりよい方法を検討し、行政評価の客観性・妥当性の確保に努めること。また、システムの連動等データの共有化については課題解決に努め、事務改善を図ること。</p>